

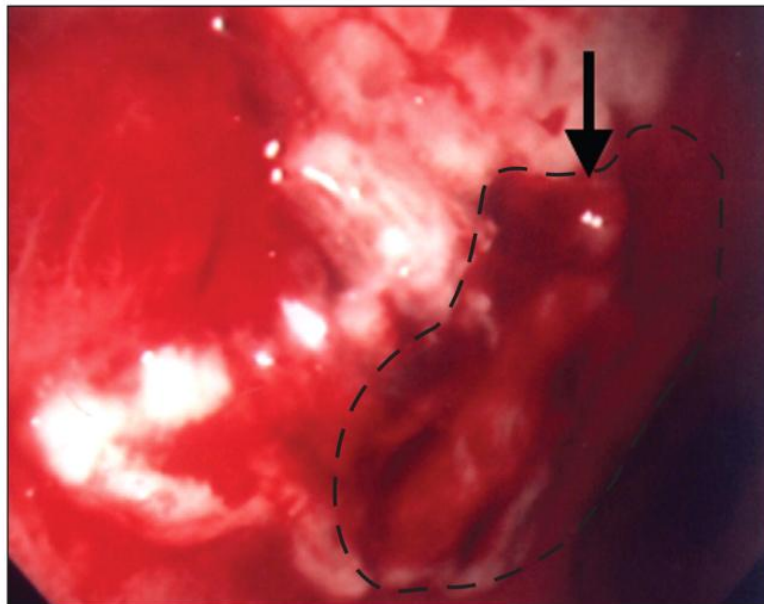
宿便性潰瘍について

— たかが便秘、されど便秘 —

大腸内に停滞した糞便の塊が腸の壁を
圧迫することによって、粘膜の血流が悪く
なり、潰瘍ができる病気です。



高度な便秘に引き続く突然の血便で発症します。出血はしばしば大量で、腹痛や肛門痛を伴う場合と伴わない場合があります。



直腸からS状結腸にみられ、ときに腸管に孔があくこともあります。



高齢者、とくに動脈硬化の強い人や寝たきりの人に起こります。

内視鏡により治療を行います。

